

柔道整復実技Ⅴ（下肢②）		実技	非常勤講師 林 勇磨	
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12371302	

1. 授業のねらい・概要

本講義では、臨床柔道整復学Ⅴで学んだ知識を実技で実践する。股関節～足部の脱臼の評価法や整復法、固定法などを理論的に理解し、実践することで技術の習得を目指す。

2. 授業の進め方

教員による解説、デモンストレーションの後にグループ班で実技を実践し、繰り返し練習する。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. 足部の脱臼の整復、固定
2. 股関節周囲の触診、徒手検査	10. 趾の触診、徒手検査
3. 股関節脱臼の整復固定	11. 足趾関節脱臼の整復
4. 膝関節の触診、徒手検査	12. 下肢の外傷の応用固定法①
5. 膝関節脱臼の整復	13. 下肢の外傷の応用固定法②
6. 膝蓋骨脱臼の整復	14. まとめ
7. 膝関節の固定	15. 実技テスト
8. 足部の触診、徒手検査	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を復習しておく（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、終了後に回答のポイントおよび出題意図を解説する。

6. 授業における学修の到達目標

各外傷に対する整復、固定ができるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢(30%) 期末試験(70%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

柔道整復学・理論編 改訂第7版, 全国柔道整復学校協会監修, 南江堂, 2022年
柔道整復学・実技編 改訂第2版, 全国柔道整復学校協会監修, 南江堂, 2012年

9. 受講上の留意事項

私語および携帯電話の使用, 飲食, 帽子の着用は禁止とする。

実習着の着用, 必要なものについては事前に連絡するので必ず用意すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は, 医療機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。